

保育園事業に参入

来年4月 大府市に開園

長屋心

女性の就業支援や旅行業などを手掛ける長屋心（「ながやこころ」本社名古屋市中区錦、三輪高之社長、電話052・6884・720）は、保育所運営事業に参入する。来年4月に、大府市に「なごころ保育園」を開園。今後、サテライト（分室）として0～2歳児の乳児を対象とした小規模保育所も名古屋市緑区など複数カ所に設置する。保育所を相互に連携させる新しいビジネスモデルの構築を目指す。

（竹田ゆりこ）

乳児分室設け連携も



多彩なプログラムで主体的な子どもを育てる。
「なごころ保育園」の完成予想図

「なごころ保育園」は、大府市森岡町6丁目を開園。対象は生後6カ月から5歳児までの乳幼児で、定員は200人。体育や知育、食育などそれぞれの専門家が監修する教育的プログラムを充実させ、社会のなかを主体的に、たくましく生き抜く力を育むことを理念とする。

顧問保育士に、カリスマ保育士として知られる「てい先生」を迎え、「園長を置かない」「保育士の業務のムダをなくす」など企業の経営ノウハウを生かして独自の手法で運営。園に勤務する保育士は週休3日で副業を認めるなど、保育士の労働環境も整える。

また、園内に監視カメラを約20台設置し、保護者が昼休みの時間帯に子どもた

ちの様子を手持ちのスマートフォンなどから見る事ができるようにするなど、保育の可視化を進める。園内に、給食を作る調理場も設け、将来的には、忙しく働く保護者に代わって夕食の弁当も作るような仕組みを検討する。

なごころ保育園のほか、近郊に0～2歳児の乳児を対象にした定員20人前後のサテライトを4～5カ所設置する計画。なごころ保育園は3～5歳児の幼児教育を中心とし、園バスを運行してサテライトを拠点に子どもの送り迎えを行うなど保育所の相互の連携も図る。

事業を軌道に乗せ、2020年をめどに関東や関西など全国での展開を目指す。